

# 11月に札幌で北海道エネルギー環境教育研究大会を開催

## エネルギー環境教育のひろば

北海道エネルギー環境教育研究委員会  
広報部会  
令和元年(2019年)  
7月12日(金)発行  
第47号



### 北海道エネルギー環境教育研究委員会総会 小池千秋新委員長が就任

北海道エネルギー環境教育研究委員会は五月十八日、T K P札幌ビジネスセンター赤レンガ前で令和元年度総会・講演会を開催した。道内の関係者ら約五十人が出席。総会では、令和元年度の活動計画を報告。また、役員では、札幌市立平岡中学校の小池千秋校長が新委員長に就任した。

総会では、役員会で決定した本年度活動計画、役員などを報告。活動計画では、十一月に札幌市で研究大会を開催することを盛り込んだ。

「持続可能な社会を目指し、自ら行動する力を育むエネルギー環境教育」とした。また、新学習指導要領の全面実施や国のエネルギー施策を見据え、新たな研究仮説を設定した。活動計画には、十一月二十九日・三十日に札幌市立藻岩小学校・ホテルライフオート札幌において第八回北海道エネルギー環境教育研究大会札幌大会、令和二年二月十五日にホテルライフオート札幌において全体研修会、道内関連施設視察研修の開催を盛り込んだ。

総会後、講演会を開催し、エコトップ政策研究センターの中岡章氏が「日本のエネルギーの未来とエネルギー環境教育」と題して講演を行った。

小池新委員長は、新学習指導要領の全面実施などを見据え、本年度から新たな研究仮説を進めることを表明。十一月の研究大会の公開授業などを通してその検証を行う考えを示した。次に、役員会で決定した本年度の活動計画を新幹事長の札幌市立北白石中学校の成田昭人校長が報告。本年度研究主題は



小池新委員長

本年度、役員は次のとおり。敬称略

### 令和元年度新役員

- 委員長 小池千秋（札幌市立平岡中学校 長・新）
- 幹事長 成田昭人（札幌市立北白石中学校 長・新）
- 幹事 山口拓也（札幌市琴似小学校 長）
- 研究部会長 熊谷誠二（札幌市立前田北中学校 長）
- 広報部会長 山下 豊（札幌市立石山中学校 長）
- 大学代表 杉山憲一郎（北海道大学名誉教授）
- 理事 北海道生活科・総合的な学習教育連盟 加藤秀樹（札幌市立澄川南小学校 長・新）
- 北海道生活科研究会 長堀裕信（札幌市立手稲中央小学校 校長）
- 北海道小学校理科研究会 田口拓也（札幌市立琴似小学校 長）
- 北海道小学校家庭教育連盟 椋澤裕子（札幌市立あいの里東小学校 長・新）
- 北海道社会科教育研究会 遠山博雅（札幌市立厚別中学校 長・新）
- 北海道社会科教育連盟 相馬慎司（札幌市立清田南小学校 長・新）
- 北海道中学校理科教育研究会 山口正信（札幌市立篠路西中学校 校長）



令和元年度新役員

- 北海道技術・家庭科教育研究会 小川厚志（札幌市立北野中学校 長・新）
- 北海道道徳教育研究会 荒島 晋（札幌市立新川西中学校 長）
- 北海道特別活動研究会 小村 淳（札幌市立篠舞中学校 長）
- 北海道大学エネルギー教育研究会 小崎 完（北海道大学大学院工学研究科教授）
- 道南支部長 長瀬雅一（函館市立あさひ小学校 長）
- 旭川支部長 三木勝仁（富良野立樹海小学校 長・新）
- 道東支部長 青木 悟（釧路市立大楽毛中学校 長）

### 平成三十年度 第二回役員会開催

総会に先立ち平成三十年度第二回役員会を開催。会には委員長、

幹事長、幹事、理事（各研究団体代表・北海道大学エネルギー教育研究会・各支部長）が出席。平成三十年度活動報告、令和元年度活動計画、令和元年度新役員体制を承認した。令和元年度新役員体制を承認した。令和元年度新役員体制を承認した。令和元年度新役員体制を承認した。



総会前に開催された役員会

### 第8回 北海道エネルギー環境教育研究大会 札幌大会

- 【期日】11月29日(金)11月30日(土)
- 【会場】1日目；札幌市立藻岩小学校 2日目；ホテルライフオート札幌
- 【授業】6 公開授業 小学校社会科、中学校社会科 小学校理科、中学校理科 中学校技術・家庭科 小学校特別の教科道徳

# 各支部の活動も充実を図る 令和元年度各支部の活動計画・具体的な取組

### 道南支部

研究主題は「かけがえのない自然環境を守り、エネルギー環境問題を自らの問題として考え、持続可能な社会をめざし、主体的に学び、行動する子供の育成」として、研究活動と実践活動として、社会科、理科、総合的な学習、特別活動、家庭科、道徳での授業研究と実践交流。ガス副読本の活用、エネルギー環境教育に関する現職研修(学習会・実践交流、全道大会参加、エネルギー環境教育に関する実践地研修及び地域教材の作成、来年度の道南支部研究大会に向けて)。

### 旭川支部

主な活動として、理科主要団体役員会議の開催、研修会を開催、北海道小学校理科研究会旭川支部との連携、北海道中学校理科教育研究会旭川地区との連携、各種研修会・勉強会への参加、他の教育研究団体との連携と組織の拡大。

### 道東支部

主な活動として、北海道エネルギー環境教育委員会及び各支部との連携、エネルギー環境教育に関する実践(所属研究団体の全国・全道大会への協力、北海道電力株式会社との連携・視察研修、各研究会等への参加、授業実践、日本エネルギー環境教育学会高知大会への参加)。



長瀬雅道南支部長

## 令和元年度具体的な取組

視察(道内視察)研修の開催  
道内のエネルギー環境関連施設での研修  
日本エネルギー環境教育学会全国大会(高知県)研究発表  
令和元年八月五日(七日)  
第八回北海道エネルギー環境教育研究大会札幌大会  
令和元年十一月二十九日・三十日  
会場：札幌市立藻岩小学校・ホテルライフオート札幌  
ホテラライフオート札幌  
全体研修会  
広報部会担当  
令和二年二月十五日  
会場：ホテルライフオート札幌

三支部における研究推進の取組組織の拡大  
全道各地に活動の輪を広げ、研究交流と連携強化を図る。  
還元できる研究団体として新会員の発掘に努め、会員相互の連携強化を図る。  
なお、勉強会(研究部主催)は札幌大会開催の年には行わない。



総会の様子

# 演題「日本のエネルギーの未来とエネルギー環境教育」

講演会  
講師 エコット政策研究センター代表  
工学博士 中岡 章氏

総会の後は講演会を実施。エコット政策研究センター代表の工学博士中岡章氏が「日本のエネルギーの未来とエネルギー環境教育」を演題として講演した。

中岡氏の講演内容は以下のとおり。  
人々が生きるために最低限必要なものは何かそして、自国で生産できないものはどうするのか。  
二十人が八十%のエネルギーを使い、八十人が二十%のエネルギーを使う。  
二十五人が食べ物がなく、十七人は水もない。  
地球上の人口は世界の人口は増加し続け、持続可能な発展が可能なのか。  
今年中には七十五億人を超える(毎分一三七人増加)。



エネルギー消費  
暮らしの豊かさとともにエネルギー消費は増加し、既存のエネルギー資源の限界も考える必要がある。  
地球上には再生可能エネルギー、化石燃料、原子力以外にエネルギー資源はない。  
エネルギー資源の自給率  
歴史的に見て世界の紛争の目的はエネルギー獲得、食料の獲得、労働力の獲得など。  
化石燃料は運ぶ量が多くて備蓄するのも大変である。  
日本のエネルギー自給率は十%未満である。



地球温暖化  
IPPC(気候変動に関する政府間パネル)第五次評価統合報告書(二〇一四)では「気候システムに対する人為的影響は明らかであり、人間及び自然システムに対して広範囲にわたる影響を及ぼしてきた」。「温室効果ガスの継続的な排出は、人々や生態系にとつて深刻で広範囲にわたる不可逆的な影響を生じる可能性」などの記述がある。

エネルギー教育  
学習指導要領には「現実の社会と教育との結びつきが重要である」としている。  
「生きて働く知識や技能の習得」「思考力・判断力・表現力の育成」「学びに向かう力・人間性の涵養」が大切である。  
エネルギー環境教育は学習指導要領に沿った良きテーマであり、人類が未来に向かつて「生きる力」を習得するためには避けられないテーマである。  
各教科の総合力  
エネルギー環境教育はどの分野の先生が担当するべきか。単一教科では説明しきれない人間の活動そのものの課題である。  
「人類の歴史」「経済発展と豊かさ」「安全」「健康」「生活の利便さ」などをエネルギーや環境の視点から見て考えることが大切である。  
人類の進むべき道は  
人々が豊かに暮らすためには、エネルギーの需要はますます増大し、化石燃料依存は地球温暖化に拍車をかける。今後人類としてどのような選択肢があるか。  
脱化石へのエネルギー資源  
エネルギーの需要に見合つて便利な資源が使用されている。しかし、それぞれエネルギー資源には特徴がある。

省エネの効果  
省エネをすると、温暖化問題やエネルギー問題は解決するのだろうか。